




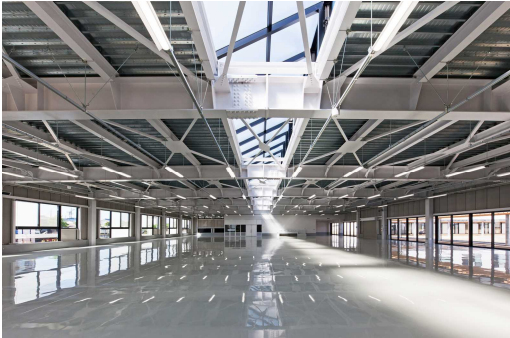
局長表彰 優良工事

建築工事課

<p>工 事 名</p>	<p>令和3年度 沼津工業高等学校普通教室棟新築他工事（建築）</p>
<p>工 期</p>	<p>令和3年10月15日 ～ 令和5年2月28日</p>
<p>工事概要</p>	<p>老朽化した校舎の新築 ・普通教室棟 S造2階 延床面積2,997㎡ ほか</p>
<p>受注者</p>	<p>山本建設株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 市川 雅教</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、沼津工業高等学校の既存普通教室棟の老朽化に伴い新校舎を建築したものである。</p> <p>学校運営が行われている中の工事であり、既存棟との接続部分の改修も含まれた工事であったが、施工者は学校行事との調整を密に行い、学校運営に支障がないよう十分に配慮し施工した。</p> <p>また、外観パース及び週間工程を記載した電光掲示板の設置や、公共の側溝清掃を定期的に行うなど地域住民に配慮した施工をした。</p> <p>本敷地の地盤が悪く地下水位が高いことを受け、施工者は地下ピットの防水対策及び地盤試験結果に基づき杭施工方法を提案し、現場状況を的確に分析した上で適切な施工がされた。</p> <p>加えて、ICT重機を使用した掘削並びに3Dスキャンデータ及び鉄骨BIMモデルを用いた鉄骨部材の位置や取合いの確認を行うなどICTの活用にも力を入れていた。</p> <p>施工以外でも、工業高校の学生に向けた現場見学会を複数回開催し、インターンシップの実施や県職員向けの研修への協力もしており、担い手確保や公共建築における技術力の向上についても貢献した。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観（北面、西面）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内観（生徒ホール）</p> </div> </div>



局長表彰 優良工事

建築工事課

<p>工 事 名</p>	<p>令和3年度 工科短期大学校多目的実習棟新築他工事（建築）</p>
<p>工 期</p>	<p>令和3年12月21日 ～ 令和5年3月20日</p>
<p>工事概要</p>	<p>多目的実習棟 S造平屋 延床面積952㎡</p>
<p>受注者</p>	<p>平井工業株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 澤田 晃</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、グローバル化や科学技術の進展等社会の大きな変化に対応出来る技術人材を育成するため、令和3年4月に開校した静岡県立工科短期大学校（静岡キャンパス）における3期に渡る工事の第3期工事にあたる建築工事である。</p> <p>同一敷地で、本工事以外に講堂棟1棟の工事及び静岡土木事務所発注の二級河川巴川流域貯留対策工事が同時に施工されたため、別途工事である、電気設備工事、機械設備工事、貯留槽対策工事等の複数の施工者との調整が必要であったが、関係者と頻繁に調整を行うことにより、綿密な仮設計画を策定した。</p> <p>また、既存施設を使用しながらの工事であったため、施設の利用者（生徒や職員等）への配慮は当然求められ、さらに近隣住民に対する配慮も求められたが、事前の工程説明や確実な仮設計画により、適切な安全対策を実施した。</p> <p>加えて、共同研究者である静岡文化芸術大学からのデザイン、仕様及び仕上げ材料等に関する様々な要求や助言に、的確に対応し、高い技術力により美しい建築物を造った。</p> <p>さらには、令和4年9月に発生した台風15号による現場や周辺道路の浸水による汚泥被害について、散水車等の調整手配や清掃を主導となって行い地域に貢献した。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観及び館名サイン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内観</p> </div> </div>


局長表彰 優良工事

建築工事課

工事名	令和3年度 伊東地区新構想高等学校特別教室棟新築他工事（建築）	
工期	令和3年10月15日～令和5年3月24日	
工事概要	高等学校統廃合に伴う特別教室棟の新築 ・特別教室棟 S造5階 延床面積5,317㎡ ほか	
受注者	加和太建設株式会社	
技術者名	監理技術者 内山 巖	
表彰理由	<p>本工事は、伊東地区の高等学校統廃合に伴い、特別教室棟、渡り廊下棟、プール・プール付属棟他を新築する工事である。</p> <p>主となる5階建ての特別教室棟は、既存の管理教室棟と今後の施工するプールや渡り廊下棟の間となるため、当初から精緻に建物位置を検討するとともに、制限された場所に正確に施工を行い、既存の管理教室棟の外壁色との連続性や調和を図るため、十分施設管理者等と打合せを行った。</p> <p>体育館及び管理教室棟の双方に接続される渡り廊下棟の施工に当たっては、各棟との納まりや、細かな工程の調整などを円滑に進め、本工事の工程管理もしつつ、他工事の工程に影響を与えることなく工事を行った。また9契約の工事全体に影響がある外構工事については、各工事が工事ヤードとして使用しているなか、施工可能な箇所を見極め、速やかに着手するなどきめ細かな工程管理の工夫を行った。</p> <p>さらにトイレブースへの抗ウイルス、抗菌効果がある光触媒の塗装、自習室壁へのリラックス効果のある木チップ入り塗り壁仕様など、より高い品質に寄与する提案を積極的に行うとともに、多数の施設要望や現場見学会、体験教室等のイベントに真摯に対応し、地域貢献にも寄与した。</p>	
写真	 特別教室棟と渡り廊下棟	 自習室


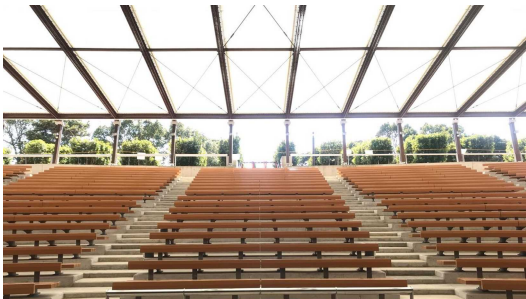
局長表彰 優良工事

建築工事課

<p>工 事 名</p>	<p>令和3年度 清水東高等学校特別教室棟新築他工事（建築）</p>
<p>工 期</p>	<p>令和3年10月15日 ～ 令和5年2月27日</p>
<p>工事概要</p>	<p>老朽化した校舎の新築 ・特別教室棟 S造4階 延床面積 4,602㎡ ほか</p>
<p>受注者</p>	<p>鈴与建設株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 河原崎 翔</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、清水東高等学校の既存特別教室棟の老朽化に伴い、新校舎を建築したものである。</p> <p>学校運営が行われている中の工事であり、施設利用者への安全に特別な配慮を要するだけでなく、特に進学校である本校では、頻繁に模試や定期テストが行われることから、学校運営スケジュールに合わせた工程調整が必要な工事であった。また、通常どおり授業を実施している既存校舎に新築校舎を接続する必要があること、当該敷地は住宅街に立地することから、敷地内外に対して騒音・振動への特別な配慮が必要であった。</p> <p>受注者は、学校運営スケジュールを正確に把握して、定例会にて、行事にあわせた作業日程の調整、音や振動が発生する工程等の説明を行うとともに、騒音・振動計を設置して作業に伴う影響の確認、仮囲いへの仮設照明設置による夜間通行時の生徒の安全性の確保等を行い、学校内及び近隣への工事施工に伴う影響を最小限に抑えるよう努めた。</p> <p>また、建築物の耐久性向上のため、社内にて施工検討会を設けて、外壁、サッシ、躯体及び Exp.j の取り合いにおける二重シールや水抜き穴の設置等を実施し、外部からの漏水対策を実施した。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図書室内観</p> </div> </div>



局長表彰 優良工事

建築工事課

<p>工 事 名</p>	<p>令和4年度 浜名湖ガーデンパーク屋外ステージ棟膜屋根修繕他工事</p>
<p>工 期</p>	<p>令和4年6月21日 ～ 令和5年3月15日</p>
<p>工事概要</p>	<p>老朽化した膜屋根の修繕 ・S造一部RC造2階 延床面積1,993㎡</p>
<p>受注者</p>	<p>株式会社林工組</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 河口 翔</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、経年劣化により破損している客席上部を覆う膜屋根の修繕工事、ステージ裏の控え室他の内装修繕工事、外部トイレの外壁及び防水修繕工事を行うものである。</p> <p>浜名湖ガーデンパーク内の一角にある施設の工事のため、浜名湖ガーデンパーク内の利用者や施設関係者への安全に配慮することが求められるなか、施設管理者と十分な協議を重ねた上、施設内に工事関係の誘導表示看板の設置及び資機材搬入動線を適切に計画するなど、トラブルなく円滑に工事を完成させた。</p> <p>また、施設内のイベント及び他工事などに影響が出ないように、状況に合わせた工程に修正するなどして、工期内に完成させた。</p> <p>さらに品質管理においても、足場設置後の現地調査から鉄骨フレームの補修工事が必要であることが判明したため、適切な補修工事を積極的に提案し迅速に実施するなど、使用者の安全に配慮した建物となるように完成させた。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内観（客席）</p> </div> </div>



局長表彰 優良工事

設備課

<p>工 事 名</p>	<p>令和3年度 清水東高等学校特別教室棟新築他工事（電気設備）</p>
<p>工 期</p>	<p>令和3年10月21日 ～ 令和5年2月27日</p>
<p>工事概要</p>	<p>老朽化した校舎の新築 ・特別教室棟 S造4階 延床面積 4,602㎡ ほか</p>
<p>受注者</p>	<p>協和サンシンエンジニアリング株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 佐藤 満幸</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、老朽化に伴う清水東高等学校の特別教室棟の新築に係る電気設備工事である。</p> <p>本工事は、特別教室棟へ給電を行うための既設受変電設備改修による停電や、既存校舎と情報連動を取るための自動火災報知設備、放送設備、LAN 設備の既設改修による施設機能の制限が発生する工事であった。</p> <p>これらは施設を使いながらの工事であり、職員や生徒動線等への安全や、授業や部活動等の学校運営に配慮する必要があった。</p> <p>受注者は、施工に先立って、停電や設備停止等の施設への影響範囲や安全対策を図面を用いて分かりやすく明確に示し、施設管理者と綿密に調整した上で、安全に十分配慮した施工を計画的に行った。</p> <p>また、施設管理者からのスケジュール要望に対しても誠実に対応し、他工事との工程調整や土日作業を交えて、柔軟かつ効率的な作業工程を遂行した。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1階自習室</p> </div> </div>



局長表彰 優良工事

設備課

<p>工 事 名</p>	<p>令和4年度 県立美術館本館ファンコイルユニット更新工事</p>
<p>工 期</p>	<p>令和4年9月6日～令和5年2月28日</p>
<p>工事概要</p>	<p>老朽化した空調機の更新 ・空調機（ファンコイルユニット） 45台</p>
<p>受注者</p>	<p>株式会社ザ・トーカイ</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 松田 浩明</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、老朽化した県立美術館の空調機（ファンコイルユニット）45台の更新に係る機械設備工事である。</p> <p>本工事は、総務課事務室や学芸課室、館長室、講座室など合計28室のファンコイルを更新する工事であり、美術館職員の仮執務室への移動や、室内の家具等の養生、工事エリアの調整などについて施設管理者と細やかな調整を行いながら約1ヶ月という限られた休館期間で完成させる必要があった。</p> <p>受注者は、このような状況の中、資材の調達から現場作業員の確保、現場作業の進捗管理、施工後の試験等について、関連工事業者との綿密な連絡調整や柔軟かつ効率的な工程監理を実施し、工程と工事エリアを施設管理者に周知することで、短期間で品質の高い工事を完成することができた。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講座室のファンコイルユニット（天井）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>総務課室のファンコイルユニット（天井）</p> </div> </div>

局長表彰 優良技術者

建築工事課

工事名	令和3年度 藤枝東高等学校第3棟解体他工事
工期	令和4年2月22日 ～ 令和4年10月21日
工事概要	老朽化した校舎の建替えに伴う解体工事 ・第3棟 RC造 2階 延床面積542㎡ ほか
受注者	三和建商株式会社
技術者名	監理技術者 安池 誠
表彰理由	<p>本工事は、高等学校敷地内において校舎と近接し、かつ周辺には住宅が近接している非常に狭い場所での解体工事であり、周辺への音や振動への配慮が特に求められる工事であった。</p> <p>本工事の監理技術者は、騒音振動の発生を防止し、周辺への影響を最小限とするため、解体工事協力業者との解体工法の検討・実施において、油圧破碎機の有効活用、ブレーカー作業を最小限とした計画を立案・実施し、工事を完了させた。</p> <p>また、テストや行事等の学校・近隣の予定に合わせた作業計画の作成・現場管理を行い、生徒・教職員・近隣住民と良好な関係を構築し工事を完了させた。</p> <p>その他、場内の安全管理に関しては、プール槽のPCB含有塗膜撤去作業を夏期に行う必要があったが、防護服を着た作業員の体調管理を徹底し体調不良者を出さず完了させた。校舎解体工事においても日々の安全管理を徹底し、無事故で工事を完了させた。</p>
写真	 <p>全景（解体前）</p>  <p>全景（解体後）</p>

局長表彰 優良技術者

建築工事課

工事名	令和4年度 水産・海洋技術研究所浜名湖分場本館展示棟外壁修繕工事
工期	令和4年8月9日 ～ 令和5年2月16日
工事概要	外壁修繕工事 ・本館展示棟 RC造2階 延床面積1,984㎡
受注者	三協建設株式会社
技術者名	監理技術者 伊藤 茂
表彰理由	<p>本工事は、施設利用者の安全性確保及び施設の老朽化対策のため、本館展示棟の外壁修繕工事を行ったものである。</p> <p>本工事の監理技術者は、天候に大きく左右される外壁修繕（タイル剥離防止等）及び防水修繕（シーリング打替えなど）工事において、余裕を持った工程管理を行った。また、施設を利用しながらの工事で音出し等が制限される中、施設管理者と密に打合せを行い、施工箇所や順序を決めることで、クレームを受けることなく工事を完了させた。</p> <p>タイル剥離防止工事においては、透明塗膜樹脂をムラ無く施工し、アンカーピンのキャップが目立たないように施工することで、改修による意匠性の低下を限りなく抑えた。</p> <p>また、快適トイレの設置、遠隔臨場の活用、施設の清掃など、多くの創意工夫に取り組み、現場環境の向上、業務の簡略化、施工施設への配慮などに貢献した。</p>
写真	 <p>外観（タイル補修面）</p>  <p>外観（休憩スペース塗装改修面）</p>

局長表彰 優良技術者

設備課

<p>工 事 名</p>	<p>令和3年度 富士総合庁舎受変電設備改修他工事</p>
<p>工 期</p>	<p>令和3年10月26日 ～ 令和5年1月13日</p>
<p>工事概要</p>	<p>老朽化した受変電設備等の更新 ・受変電設備 12面、直流電源装置 1面 ・自家発電設備 1基、鉄骨架台 3.5m</p>
<p>受注者</p>	<p>小林電気工業株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 石渡 弘樹</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、老朽化した富士総合庁舎の受変電設備・直流電源装置の移転更新、自家発電設備の移設及び鉄骨架台の新設に係る電気設備工事である。</p> <p>本工事は、県職員に加え、一般来庁者も出入りのある総合庁舎内での工事であり、利用者の安全を十分に配慮すると共に停電を伴う作業を行う際には、限られた時間内で実施する必要があり、加えて、停電により影響のある複数の部署との調整が必要であった。特に富士市上下水道部や水防業務を司る富士土木事務所との調整は、特段に配慮する必要があった。</p> <p>本工事の監理技術者は、施工にあたり、作業エリアを明確に区分することにより利用者の安全を確保すると共に、施設管理者や各部署に停電エリアを示す図面や作業手順書を利用して丁寧に説明を行い、適切な工程管理・施工管理を行った。</p> <p>特に、富士土木事務所の水防業務に関係する盤の停電を伴う切替えについては詳細な現地調査により手順の明確化・効率化、事前準備を徹底することで、停電作業の短縮を図り、2日間を予定していた停電作業を2時間程度で完了させ、業務に支障が出ないように工事を完成させた。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>受変電設備・直流電源装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自家発電設備</p> </div> </div>



局長表彰 優良技術者

設備課

工 事 名	令和3年度 工科短期大学校講堂棟新築他工事（電気設備）
工 期	令和4年2月10日 ～ 令和5年3月20日
工事概要	<ul style="list-style-type: none">・講堂棟 S造平屋 延床面積661㎡・多目的実習棟 S造平屋 延床面積953㎡
受注者	株式会社東海電気工業所
技術者名	主任技術者 鈴木 宣裕
表彰理由	<p>本工事は、既設の本館や実習棟の南側に講堂棟、多目的実習棟及び渡り廊下を新設する工事であり、講堂棟建築工事、多目的実習棟建築工事、機械設備工事工事、貯留槽新設工事の合計5工事が同時に施工する現場で、他工事の受注者と協力して綿密な調整を行いながら、限られた工期の中で意匠に配慮した施工を行う必要があった。</p> <p>本工事の主任技術者は、照明器具や配線器具を選定する際には建築意匠と綿密に協議し、デザイン性や機能性に配慮した最適なものを選定し、全体の調和を意識したきめ細やかな工事を実施した。</p> <p>また、共同研究者である静岡文化芸術大学からの施設デザインに関する様々な要求やアドバイスに対しても迅速かつ積極的に対応し、手戻りや無駄な施工を少なくするよう作業の効率化に努めた。</p>
写 真	 多目的実習棟  講堂棟



局長表彰 優良技術者

設備課

工事名	令和3年度 伊東地区新構想高等学校管理教室棟改修他工事（電気設備）
工期	令和4年2月22日～令和5年3月16日
工事概要	高等学校統廃合に伴う管理教室棟の改修 ・管理教室棟 SRC造5階 延床面積 5,127㎡
受注者	株式会社ダイナナ
技術者名	監理技術者 土屋 浩一
表彰理由	<p>本工事は、伊東地区の高等学校統廃合に伴う、管理教室棟の改修に係る電気設備工事である。</p> <p>本工事は、同一敷地内で、特別教室棟の新築工事、体育館の新築工事、管理教室棟の改修工事に係る建築、電気、機械の合計9工事が同時に施工する現場で、限られた工期の中で、複数の工区にまたがる他工事の受注者との綿密な調整を行いながら工事を完成させる必要があった。</p> <p>受注者は、建築、電気、機械の複数工区に関連する消防機関との連絡調整のとりまとめを行い、特に完成時の消防検査の対応においては、敷地内全ての工事に対する指摘事項是正のとりまとめを的確に行い、限られた工期の中で無事に工事を完了させた。</p> <p>また、施設管理者及び発注者からの要望に対しても誠実に対応し、他工事との工程調整を綿密に行い、柔軟かつ効率的な作業工程を遂行した。</p>
写真	  <p>総合防災盤</p> <p>2F生徒ホール</p> <p>2023/03/01</p>



局長表彰 優良技術者

設備課

<p>工 事 名</p>	<p>令和3年度 伊東地区新構想高等学校特別教室棟新築他工事（機械設備）</p>
<p>工 期</p>	<p>令和3年10月20日 ～ 令和5年3月16日</p>
<p>工事概要</p>	<p>高等学校統廃合に伴う特別教室棟の新築 ・特別教室棟 S造5階 延床面積5,317㎡ ほか</p>
<p>受注者</p>	<p>片野設備株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 芹澤 智司</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、伊東地区の高等学校統廃合に伴う、校舎新築に係る機械設備工事である。</p> <p>本工事は、同一敷地内で、特別教室棟及び体育館の新築工事、管理教室棟の改修工事に係る、建築、電気、機械の合計9工事が同時に施工する現場で、限られた工期の中で、発注課や施設管理者、他工事の受注者との綿密な調整による安全確保が求められる工事であった。</p> <p>本工事の監理技術者は、このような条件に対応するために、施工に先立って発注課や施設管理者、他工事の受注者と綿密な連絡調整を実施し、柔軟に工程調整や人員調整を行うことにより事故無く工事を完成させた。</p> <p>また、施設管理者からのスケジュール変更要望に対しても迅速かつ誠実に対応し、工事を完成させた。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>空気調和機室外機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トイレ手洗い</p> </div> </div>

局長表彰 優良技術者

設備課

工事名	令和4年度 静岡高等学校校舎棟トイレ改修工事（機械設備）
工期	令和4年5月24日～令和4年12月16日
工事概要	校舎棟生徒用トイレの改修 ・生徒用トイレ（計10箇所）
受注者	株式会社ハローG
技術者名	主任技術者 森田 伊吹
表彰理由	<p>本工事は、静岡高等学校校舎棟の生徒用トイレの改修に係る機械設備工事である。</p> <p>本工事は、施設を使いながらの工事であり、かつ施工範囲が校舎全体に渡っていたため、施設利用者の安全と学校運営の両方に配慮しながら、限られた工期の中で工事を完成させる必要があった。</p> <p>本工事の主任技術者は、このような条件に対応するために、施工に先立って施設管理者から提示された学校スケジュールに対し、施工範囲と工事内容を詳細に検討し、工事による生徒トイレの使用不可期間の短縮や、現場内での安全騒音対策にも積極的に努めた。</p> <p>また、施設管理者からのスケジュール変更要望に対しても迅速かつ誠実に対応し、工事を完成させた。</p>
写真	 男子トイレ（小便器）  洋風便器